

2020/8/19

(うとQブログ 「最高の人生」?)

「好きなことをやって、それで飯が食えれば苦労はない」

「仕事は楽しいことばかりではない。それは仕事の大変さを知らないから言えることだ」

しかし、今までよく耳にしたそれらのご託宣は「まことしやかな嘘」か「勘違い」のような気がします。

「好きなことだから、少ない実入りだってやっていける (家族に迷惑をかけない範囲で。或いは、それを理解する家族を持つことで)」

「好きなことをやっているんだから、苦しいこともあまり苦にならない」

というのが本道ではないかと。

或いは「何故そう先をみるのだ？」という問いに対して

「経営の要諦はいかに先を読んで、その推測に対して鼓舞乃至は抑制の布石を打つことだ」

という、これまたまことしやかで立派な「ご託宣」ですが、実のところは

「えっ、それでこの先どうなるんだろう？次回はどうなるんだろう？」

という、子供の頃の人気連載漫画の次号を楽しみに待つ、或いは待ちきれないこども心に等しいものでしかない、そんなところが本道のような気も致します。

好きなことで、とっつ、かつつ、でありながらも飯を食い、ワクワクしながら明日を待つ (読む)

そんな人生を経営者として送れば最高かな？と思っております。